

「読む」から広がる子どもたちの未来 ～学校・地域・市民とともに～



学校図書館は子どもたちの「知りたい」「読みたい」気持ちを支える場です。本を手渡したり、探し方を伝えたりすることで、子どもたちと情報をつないでいます。私たち学校図書館問題研究会は、子どもたちの感動するところと考えることばを育むべく、実践を重ね、交流し、研究を続けてきました。

この大会では「読む」とは何かを問い直します。子どもたちの読書や学びを支えるために集い、語りあい、学びあいましょう。数多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2011年8月1日(月)～3日(水)

会場： 都ホテルニューアルカイク (〒660-0081 兵庫県尼崎市昭和通 2-7-1 / TEL06-6488-7777)
 尼崎市中小企業センター (〒660-0081 兵庫県尼崎市昭和通 2-6-68 / TEL06-6488-9501)

主催： 学校図書館問題研究会 (<http://homepage3.nifty.com/gakutoken/>)
 兵庫大会ホームページ (http://www.geocities.jp/gakuto_hyogo/)

後援： 兵庫県教育委員会・尼崎市教育委員会・兵庫県立高等学校長協会・兵庫県中学校長会・
 兵庫県小学校長会・兵庫県私学総連合会・兵庫県学校図書館協議会・
 兵庫県私立学校図書館協議会・兵庫県図書館協会・社団法人日本図書館協会・
 社団法人読書推進運動協議会

申込期限：6月30日(木) 必着 *参加費・申込方法などの詳細は裏面参照

プログラム

8/1 (月)	12:00	13:00	14:00	17:00	19:00	21:00
	受付	開会行事 ・総会	パネルディスカッション	*夕食	ナイター(A~K)	
2 (火)	9:00	12:00	13:00	17:00	18:00	20:00
	実践報告 I・II		*昼食	分科会(①~⑧)	*全体交流会	
3 (水)	9:00	11:30	11:50			
	全体会・総会		閉会 行事			

*印は希望者のみ(料金別)
 詳細は申込書をご覧ください

パネルディスカッション いま「読む」を考える



パネリスト

小熊真奈美さん(郡山市立行健第二小学校 司書教諭)
 高島恒雄さん(講談社児童図書第二出版部 部長)
 広瀬恒子さん(親子読書地域文庫全国連絡会 代表)

コーディネーター

松井正英さん(長野県下諏訪向陽高等学校 司書)

いま、インターネットやケータイ、電子書籍など、「読む」をめぐる状況も大きく変わってきています。このうねりの中で「子どもの読書」への社会的関心が高まっています。私たちは、子どもたちが「読む」ことで、何を学び、どう育ってほしいと願っているのでしょうか。子どもたち自身は何を求めて「読み」、あるいは「読まない」のでしょうか。

はじめに長く子どもたちの「読む」を支えてきたパネリストから、なぜ「読む」ことがいま大切なのかを語っていただきます。その後、参加者全員で「読む」という営みをどう捉えるか、子どもたちの「読む」の何を保障し、どうかかわっていくべきかについて、一緒に考えていきましょう。

実践報告 I 岡山市の学校図書館 これまでとこれから ～ 専門性を追求して～ 横山由美恵さん（岡山市立庄内小学校 司書）

岡山市では、1989年から専任・専門の学校司書が1校1名配置されています。その間、学校司書配置のない自治体との合併など様々な危機に直面しながらも、途切れることなくこの配置を守ってこられたのは、常に子どもたちの読書・学び・育ちという視点から自分たちの専門性を追求し、そのことを教職員や市民へと発信し続けてきた取り組みがあったからこそだと考えます。そうしたこれまでの岡山市での実践を振り返り、これからの学校図書館充実のために何が必要か、一緒に考えましょう。

実践報告 II みんなで使おう！学校図書館

“先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース”3年目の取り組みから

中山美由紀さん（東京学芸大学学校図書館運営専門委員会、東京学芸大学附属小金井小学校 司書）

東京学芸大学附属小中学校5校の司書の集まりがきっかけとなり、データベース構築にいたしました。これを立ち上げたのは、学校図書館を効果的に活用している教員の事例を蓄積・公開することで学校図書館の学びをサポートする機能を内外に知らせようと考えたからです。2年目からは学外の協力も得、量と質の向上を図っています。作成の過程で、事前に司書と教員が授業で何をめざすかの共通理解を持つことと、授業後のフィードバックの大切さを痛感しました。「みんなで使おう！」が合言葉です。

ナイター



A：「職員問題を考えるプロジェクトチーム」 と考えよう part2

昨年より検討をつづけてきた「学校図書館に専任・専門・正規の‘人’がいたら、子どもたちの育ちにどんな支援ができるのか、をアピールするパンフレット（案）」を討議するとともに、今後の活動について意見交換を行います。

B：群読ワークショップ <定員30名> ～「群読」の楽しさを体験しよう！～

「群読」とは、詩や文学作品を大勢で声に出して読む、魅力的な音声表現です。小学校で長く実践を深めてこられた内部恵子さんを講師に、実際に体験し、楽しさや効用を実感してみましよう！

C：本の装備レベルアップ小作戦 <定員20名>

装備の困りごとをみんなで考えます。各社のブックコートフィルムの比較や、退色やしわの実験結果を展示。フィルムお試しコーナーもあるので、装備したい本をお持ちください。便利な文房具も紹介します。

D：YA絵本について語ろう！ <定員20名>

YA絵本について語り合うナイターです。中・高校の図書館に置いておきたい絵本について情報交換しましょう！おすすめのYA絵本を各自1冊持ち寄って、その魅力を語り合いましよう！

E：授業を支える司書づくり <定員40名>

10分からできる司書の授業サポート、小技、大技、力技(?)授業の導入につかえるブックトークや、利用のガイダンスを行います。実演後はダメ出し・お困りごとなど気軽に話し合いましよう。

F：本の話をしようよ！ <定員25名>

～6類の棚を充実(ぎっしり)に～

5類と7類にうもれて、目立たない存在の6類。そんな棚をみなさんの知恵で充実させませんか？図書館の脇役になりがちな6類にスポットライトを当てて語り合いましよう！ ※推薦本2冊持参

G：「ピンチはチャンス！」の極意 ～生徒は必ず応えてくれる！～

福島県でPTA雇用から県職員の高校司書となり、様々な状況を経験してきた長崎キヨ子さん。どんな学校や状況でも、子どもたちは必ず応えてくれる、「ピンチはチャンス！」の経験を語ります。

H：お話し会、楽しいかい！！

尼崎北図書館で活動のボランティアグループ「ひまわり」による手遊び、読み聞かせなどと、「鴎の子文庫」の片桐由美子さんによるストーリーテリング(小学校3年生以上対象)をお届けします。たっぷりとお話の世界をお楽しみください。

I：おやつの本だけ食べないで <定員30名> ～小学3年生にどんな本？～

「絵本から読み物への移行期」と言われている小学校3年生。彼らにどんな本をどのように手渡すことができるのでしょうか？事例やブックリストを紹介した後、グループで話し合います。みんなで考えましよう。 ※中学年向きブックリスト・おたよりなどあれば持参

J：捨てる・片付けるワザ

統廃合による図書館の閉館を経験した学校司書の体験談をネタに、皆さんの捨てる・片付けのワザと工夫をざっくばらんに語り合いましよう。

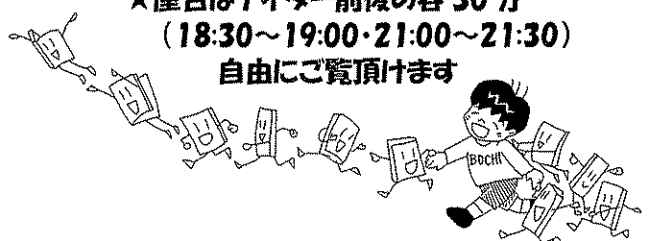
K：屋台(さまざまなブースを自由に見て回れます)

「Library Navi 大交換会」参加者が持ち寄る Library Navi の交換会および頒布会と体験コーナー/「図書館改造計画」さまざまなレイアウト紹介と意見交換/「図書館友の会全国連絡会」活動紹介/震災復興応援コーナー/企業出展 ほか

★屋台はナイター前後の各30分

(18:30～19:00・21:00～21:30)

自由にご覧頂けます



分科会

① 学校図書館で「読む」を支える

<報告> 中嶋馨さん(宇治市立北小倉小学校
図書館ボランティア)

清水理恵さん(箕面市立豊川南小学校 司書)

パネルディスカッションを受け、実際に学校図書館ではどのように子どもたちの「読み」を支えていけばいいのか、それぞれの立場で考えてみませんか。

ボランティアのいるところと専任・専門の学校司書のいるところ、いろんな学校図書館での具体的な実践を聞き、参加者で討議を深めましょう。

子どもたちが生き生きと「読む」ことを楽しみ、「読み」から「学び」を身に付けていく、学校図書館のあるべき姿を探ります。

② 先生が使う学校図書館

～なぜ使う？ どう使う？ そしてどうなる？ part2～

<報告> 金澤磨樹子さん(東京都おおさわ学園
三鷹市立羽沢小学校 司書)

門脇久美子さん(東出雲町立揖屋小学校 司書)

樋野義之さん(東出雲町立揖屋小学校 教諭)

昨年の私学・国立での協働事例に続き、今年は公立学校での“協働”を探ります。東京学芸大学のデータベース事例を分析することで見えてきた協働のさまざまな形。異動先の学校で新たな働きかけをし、授業との接点を探る小学校司書金澤磨樹子さんの取組。年間のべ650時間を超えるほど授業に活用されている小学校の司書門脇久美子さんと専任司書教諭樋野義之さんの報告。以上を柱に、その後、豊中市の公立学校の先生も交え、会場の皆さんと話し合う時間を持ちます。先生の参加大歓迎！

③ 教諭と司書で語りたい授業支援

<報告> 野口好市郎さん(大阪府立山本高校 教諭)
水元なゆりさん(大阪府立山本高校 司書)

2007年度からはじまった英語科の多読授業には、準備の段階から図書館も関わってきました。授業支援を始めてから図書館活動も活発になり、2010年度には文部科学省の読書活動優秀実践校として表彰もされました。その中から見えてきた授業支援について教諭、司書の立場それぞれからレポートします。どうすればうまくいくのか、教諭が望む授業支援とはどういうものなのか、参加者の実践例も交えながら、みなさんと話し合います。

④ 図書館改造！

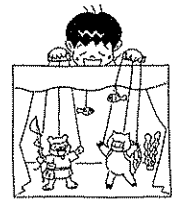
<報告> 竹村聡さん(長崎市立深堀中学校 教諭)
津留千亜里さん(熊本県立八代工業高校 司書)

図書館改造やディスプレイって何の為に？ ただ雰囲気をもくしたいだけ？ いえいえ、それだけではありません。悩める新人さんはもちろん、様々な立場で学校図書館に携わっておられる方、ぜひおいでください！ 手作り図書館家具作りや小中学校図書館改造の実践発表をもとに、図書館作りのねらいやコツについて一緒に考えましょう。



⑤ YA作家と語ろう！

<講師> 石崎洋司さん(作家)
香月日輪さん(作家)
令丈ヒロ子さん(作家)



本を通して利用者とながらつながっている、作家(作る人)と司書(手渡す人)、それぞれの思いを語り、子どもたちに本を手渡すことの意味を考える分科会です。講師には作家の石崎洋司さん、香月日輪さん、令丈ヒロ子さんの3人をお招きします。

書籍販売とサイン会もありますので、ふるってご参加ください。

⑥ 学校図書館と「図書館の自由」

<報告> 加藤容子さん(津山市立東小学校 司書)
高橋恵美子さん(JLA 学校図書館部会 部長)

資料収集の自由、資料提供の自由、個人情報保護など、日頃の仕事をしていく上で、困ったことはありませんか？ 利用者の知る権利を保障する「図書館の自由」をどうやって知ってもらい、拡げていくか。「図書館の自由」の概論と、日々の仕事を通じ、どう対応しているのか、事例報告をもとに、参加者みなさんの実践していることや、困っていることを出し合いながら、学校図書館における「図書館の自由」とは何かを考えましょう。

⑦ 専門学科・総合学科の図書館を語ろう

～課題研究への援助を中心に～

<報告> 石黒順子さん(埼玉県立越谷総合技術高校 司書)
谷口初江さん(北海道石狩翔陽高校 司書)

近年、生徒の能力・適性、興味・関心、進路等の多様化に対応した特色ある学校が増え、図書館はその独特なニーズに応じた支援を求められています。そこで、1校に多くの学科が置かれている専門学科高校と、幅広い選択科目の中から生徒の個性を生かした主体的な学習を行う総合学科高校の事例報告をします。さらに課題解決型授業の援助などについても情報交換を行います。

⑧ 現代の教育課題に答える学校図書館

<報告> 足立正治さん(元 甲南高等学校・中学校 教諭)
桑田てるみさん(国士舘大学 准教授)
庭井史絵さん(慶應普通部 司書教諭)
松田ユリ子さん(神奈川県立田奈高校 司書)

学校図書館と生徒の学びについて既存の枠組みにとらわれない活動を続けている足立正治さんをコーディネーターに迎え、現代の教育課題に対する学校図書館の役割について参加者全員で考えます。テーマは壮大ですが、日常の実践を少し俯瞰しながら、柔軟な発想や新たな実践が生まれる多様な視点を発見することを目指します。

交流会に参加される方へ

オススメ本を紹介しあうプログラムがあります。「今だからこそ元気の出るオススメ本」をテーマに、1冊選んで持参してください。東日本大震災被災地の会員校に寄贈を予定しています。ご賛同頂ける場合は、交流会終了後に会場で本をお預けください。

※小中高対象に一人1冊

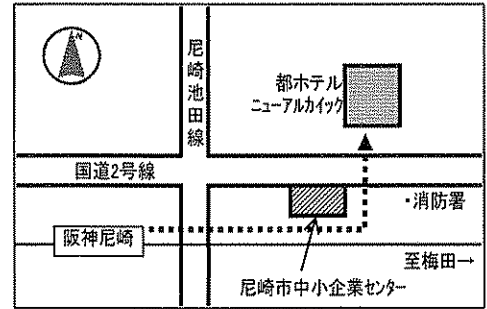
※寄贈頂ける場合は新品かそれに近いもの

会場アクセス

都ホテルニューアルカイツク

<http://www.miyakohotels.ne.jp/archaic/>をご参照ください。

- ・ 阪神「尼崎」駅より北東へ徒歩約6分
(駅北側にホテルまでの立体遊歩道があります)
- ・ JR「尼崎」駅より車で約5分
- ・ 大阪(伊丹)空港(約20分)、関西国際空港(約50分)
より阪神「尼崎」駅までリムジンバスあり



* 駅からの立体遊歩道(.....部分)

申込方法

同封の申込書に必要事項を記入し、**FAX**でお申し込みください。郵送でも申し込めます。

お申込後、7月13日(水)までに確認書兼請求書をお送りします。

到着後、7月22日(金)までに指定口座に振り込んでください。

申込先：〒650-0032 神戸市中央区伊藤町121 神戸伊藤ビル8F

近畿日本ツーリスト(株)神戸教育旅行支店(担当：太田・八代)

TEL：078-321-0633

FAX：078-321-7066

振込先：①郵便振替：00910-3-188964

口座名義 近畿日本ツーリスト(株)神戸教育旅行支店

②銀行振込：ゆうちょ銀行

店名：〇九九店(ゼロキュウキュウ店) 預金種目：当座 口座番号：0188964

受取人名：キンキニホンツーリスト カブシキガイシャ コウベキヨウイク

申込締切：2011年6月30日(木) 必着！ ※保育は6月20日(月) 必着

①参加費	全日程参加	(会 員)	一日のみ参加の場合	
			(会 員)	(学 生)
			5,000円	3,000円
		(非会員)	5,500円	1,000円
		(学 生)	2,000円	

②大会報告集 『がくと』 非会員でご希望の方はお申し込みください。1,000円(送料込)
会員の『がくと』代金は年会費に含まれています。

③宿泊 申込書裏面をご参照ください。先着順にて受付いたします。

④キャンセル料 7日前よりキャンセル料が発生します。申込書裏面をご参照ください。

⑤分科会・ナイター 分科会・ナイターは必ず第2希望まで記入してください。
申込多数の場合は、希望に添えないことがあります。

⑥締切後の宿泊 締切を過ぎた宿泊申込には応えられない場合があります。
お早めにお申し込みください。

⑦申込用紙 申込用紙が必要な方は、学校図書館問題研究会兵庫支部の兵庫大会ホームページからダウンロードできます(学図研公式ホームページにリンクがあります)。
兵庫大会ホームページ (http://www.geocities.jp/gakuto_hyogo/)

⑧食事 1日目夕食、2日目昼食、全体交流会をご希望の方はお申し込みください。
詳細は申込書をご参照ください。

⑨保育 対象：3歳以上
時間：8月1日(月) 12:30~17:15
8月2日(火) 8:45~12:05 12:50~17:15
8月3日(水) 8:45~12:00
費用：子ども1人につき 一律4,000円(参加日数に関わらず)
* 保険・おやつ込み。その他、遠足などの実費が必要です。
申込：申込書の所定欄にお子様の氏名・年齢を記入し、**6月20日(月)まで**にお申し込みください。
後日、大会事務局より保育に関するアンケートを送付させていただきます。



大会事務局 鈴木 啓子 (すずき けいこ)

勤務先： 兵庫県立西宮今津高等学校

TEL. 0798-45-1941 FAX. 0798-45-1942

E-mail: gakuto_hyogo@yahoo.co.jp